

築田寺だより

Ryoudenji Letter



2022.05

変わる！変わる！

齋藤筍堂謹也 — 築田寺住職

庫裡の部分の大改造については以前にもお知らせ致しましたが、いざ職員さん達が三月一日から入り大修繕工事に入ると、変化させること、変化することが目に見えてきています。残念な気もするし、また期待もします。一つの気持ちで裏と表に分かれ妥協調和を図りながらも、でも積極的な方を取っていきましょう。

築田寺の守護 大権修理菩薩さま（本堂正面に向かって右側の像）の曲録の修理を坐禅会の方がやってくれました。さすがに左側の達磨大師と



大権修理菩薩 / 瓊花

相對して落ち着いています。法要参列者等に説明すると、なるほどと言ってくれます。うれしいのは、山門左側の記念樹「瓊花」が勢いを取り戻したことです。また本年のウグイス、早くから上手なホーホケキョの鳴き声を山内に響かせてくれました。「上手だね」と思わず声をかけていました。実は下手くそな年もあり思わず「もつと練習して」と言いたくなってしまうこともありました。

紘良副住職は、ニホンミツバチに凝っていてあちこちに蜂の巣箱を谷戸内に用意しています。美智子寺庭は寺の庭あちこちに山野草を植えて今年も〇〇がよく咲いた、セリやクレソン、ワサビがいきいきとしていてうれしいと言っています。

「諸行無常」と言いますが常に変化し続けている中には、悲しみ、衰退だ

けでなく「成長」「発展」も入りますね。長年の課題であった堂屋敷谷戸の木々の手入れが進んだことにも気づいてください。「気づき」を大切にし変化を積極的につけ、哀しみではなく喜びに変えてウィズコロナ社会を生きてください。

それにしても手を出しようもないウクライナとロシアの争い。祈るしかないのでしょうか。人間の業の深さを見せつけられている気がします。

住職自戒（老倒少なからず）

- ・くどくなる
- ・気短になる
- ・愚痴になる
- ・でしゃばりたがる
- ・世話やきたがる



寺門脇の夏みかん収穫 / 珍しいしらね葵

◀◀ 庫裡改修工事について内面をお読みください。

〔改修工事に向けて〕

活気がありやすらぎがあり
美しく

いつも人がいる寺

こんにちは、副住職の齋藤絃良です。檀信徒のみなさまには、お寺の庫裡に工事職人の方々の出入りが多くなったり、事務員が急が増えたりして（何か変化しているのかな）と感じられているかと思います。

コロナ禍も三年目に入り、お寺の存在意義をあらためて考えております。現住職の願いである「いつも 人がいる寺」を実現するにあたり、コロナで法要が少なくなる中においても人々が行き交う場所を考えたところ、禅寺としての体験を気軽に行える施設を作りたいと考えるようになりました。

坐禅や写経、僧堂生活体験などを味わえる宿坊、そして身体に優しく食べて禅思想を感じられる精進料理ベースの食堂を計画しています。秋口にはお披露目できると思いますので、ぜひお楽しみになってお待ちいただければ幸いです。

食堂「ときとそら」

朝はお粥、昼は野菜を中心としたランチプレート、夜は精進料理を中心の食堂。寺院関係者にとっても一般客にとっても憩いの時間と空間を得られる場所を目指します。



食堂イメージ



宿坊イメージ

宿坊「たいぜん」

心身のすべてを安らかにするための宿坊です。断食をおこなうためのプログラムも用意し、じっくりと禅体験ができる拠点にもなります。会社や法人での合宿研修としても利用ができます。

花屋「花綵（はなづな）」

築田寺の山で育った草花を、お墓参りの方だけでなく近くに住んでいる方などに向けて開くフラワーボタニカルショップです。



お寺の植物を使ったアレンジメント

〔改修中の場所〕



〔改修の目的〕

01 一禅寺での宿泊・禅体験

断食（ファステイング）のカウンセリングを主とした宿泊場を営みます。断食中に行える坐禅、ヨガ、作業、写経、お香作り、野草茶作りなどの禅体験を考えています。これらは宿泊客以外にも体験することができ、訪日外国人や若い女性はもちろん、日常生活において体内バランスの乱れた中年男性へのアプローチも効果的と考えます。境内の谷戸では、薬草につながる野草が多く取れるため、お香作りや茶作りは体験者自ら採取した野草にて行うことができます。宿泊・食堂の内装設計には、設計事務所 *ima*（アパレルブランド *marimekko* や *ILBISSONTE* などの内装を手がける）に依頼し、優美で落ち着きのある空間を演出していただきます。

02 一地域に開かれた食堂

宿泊場に併設予定の食堂は、禅寺の精進料理や薬膳料理をもとにしたメニューを開発し、ヴィーガンやベジタリアンへの対応、そして野菜食への子どもたちの興味を引き立てる要素を盛り込みます。メニュー開発にはマクロビオテックを中心とした薬膳アドバイザー等で活躍する篠田千景氏（ラシックの森主催）を迎え、檀家総代である牧野仁氏の畑で採れた野菜をふんだんに使う料理を中心にいたします。近隣には、保育所、幼稚園、高齢者住宅が多数存在するため朝食メニューの提供にて、出勤前の保護者を支援につながり高齢者の生存確認のきっかけとなるよう地域ニーズに答えた食堂（子ども食堂申請も検討中）も計画しています。

〔改修の目的〕▽三面の続き

03 一門前の各お店

山内の遊休施設を活用し、植物販売などを行います。植物販売店は、寺院山内で育成された多種の野草を取り入れた献花をアレンジすることで、自然で慎ましいお供えとなり、来客や檀家の方々に喜んでいただけると思います。

現在、寺院の森と林業を結びつけて持続的な里山管理を行うために檜原村で林業を営む株式会社東京チェンソーズとコラボレートし、巨木の伐採ワークショップやグランピング計画を立てております。伐採された木材は、目の前の株式会社尾作木材にて製材加工され、家具や木工品として山内整備に活用予定です。

04 一事業のゴール及び計画

この事業は、宗教法人が直運営するため宗教活動がベースとなります。布教や寺院の存続のための人件費、維持管理費をまかなう目的として事業を行います。事業の主軸は宿泊、食堂、禅体験プログラムです。境内の庫裡および遊休施設を改修し、断食（ファステイング）を主とした宿泊、精進料理とマクロビオテックを融合させた食事処、山内で生産されたグッズ販売などの事業展開が、これからの寺院運営の持続を支えるための計画です。

無戒の七施

- 一、眼施（やさしいまなざし）
- 二、和顔施（にこにこやわらか）
- 三、言辞施（思いやりのことば）
- 四、身施（身体を使ったお手伝い）
- 五、心施（心づから）
- 六、床坐施（席をゆずる）
- 七、房舎施（泊める）

〔坐禅会〕

本堂にて行っています。

参加自由ですが、参禅会世話人の指示に従って下さい。
（毎週日曜八時より）



改装時見つけた片岡重助の著書（住職祖父）/ 寺の犬（とも）

〔墓地管理料お支払い・価格改定のお願い〕

2022（令和4）年度の墓地管理料の納入時期が来ましたので、お知らせいたします。

本年度より昨今の社会情勢でのさまざまな資材の高騰、コロナ禍での自粛等による寺院活用の減少など、十数年前の管理料と同じでは成り立たなくなってしまい、前年お施餓鬼会でお話した通り管理料の改定を行わせていただきます。周辺の寺院の様子を見ながら調整いたしました。**一処の碑をご利用の方は不要です。当寺に墓地のある方のみ**、最寄りのATMなどで下記の銀行にお振込みをお願いいたします。

すでにお振込みの方は行き違いの故、お許しください。

※お振込みの際は、必ずお手紙の宛先と同じご名義フルネームでお振込みいただきますようお願いいたします。

管理料：年額 10,000 円

振込先：三井住友銀行 町田支店（847）（普通）6605858 宗教法人 築田寺